



与野本町駅前保育所
「みずみずしい夏の旬」

みらい

2019.8 (21)

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

新役員挨拶 …P2～3

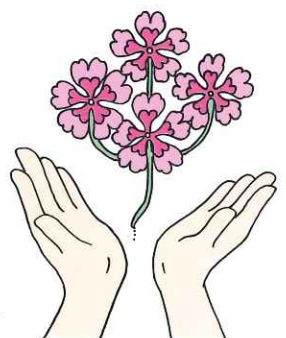
第11回定時総会／役員一覧／役員改選／新会員紹介…P4 雇用対策部／研修部…P5

予算対策部／調査研究部…P6 食育部…P7

保育園での安全管理、危機管理について…P8

わくわくがいっぱい！／編集後記…P9

保育園紹介…P10



新役員挨拶

子ども達が輝く新しい年に

一般社団法人さいたま市私立保育園

協会 会長

大野

智子^{さとこ}

(おおぞらウインクルム保育園)

今年の5月に元号が変わり、「令和」という新しい時代を迎えました。

会員の皆さまにおかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、令和元年5月16日(木)に開催されました第11回定時総会において、会長に就任いたしました。微力ではございますが、会員の皆様と一緒に、子どもたちにとって安心で安全な保育の原点に立つて考えていきたいと思っています。

また、本協会の理念である「子どもたちの最善の利益と発達保障」「安全で質の高い保育」「地域に根ざした保育」「心豊かな職員育成」に基づき協会の運営にあたつて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年は、新元号とともに5月の気温とは思えない30℃を超えるという異常気象が始まり、6月は梅雨に入りましたが曇り空が多く、7月に入っても曇りや雨が長引き、日照不足と冷夏で天候不順が続いております。日照不足で農作物の生育や各地にさまざまな影響が出ております。

さて2019年10月より4年間先送りされてきた消費税値上げにもなつて実施される「幼児教育・保育の無償化」には、様々な問題が懸念されます。その一つに、副食費の徴収や滞納債権整理の問題などが上がります。国は年収360万円未満の世帯には公費による支給(自己負担なし)とすることとしています。自治体独自の予算の維持などの要望活動が必要と考えられます。自治体独自の教育・保育施策の考え方により、保護者負担に差が生じ、食料料金の扱いを見ても、自治体予算による完全給食を実施する地域と保護者負担のある地域では負担に大きな差があります。月4、5000円の副食費のみを考えても、1年間で

54,000円、3年間で162,000円の負担の有無が生じ大きな差となります。無償化により、保育料の負担軽減につながる一方で、保護者の負担に格差が生じてしまう事に疑問を生じます。よつて、令和元年7月22日(月)に、行政説明がありますが、このような現状をお伝えし、混乱が生じないよう、働きかけて行く必要があると思います。

ところで、今年は埼玉県でラグビーのワールドカップの開催、来年には東京オリンピック・パラリンピックでサッカー、バスケ、テニス、ゴルフ、射撃の4種目が埼玉の地で開催されます。1964年に開催された東京オリンピックから56年ぶりです。当時は金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル8個、合計29個のメダルを獲得いたしました。2020年東京オリンピックでは日本のアスリートたちがどんなドラマを繰り広げメダルを獲得するのか楽しみです。

明日の日本を担っていく子どもたちにとって、新元号《令和》(万葉集が典拠)の意味「人々が美しい心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように」と夢のある世の中になつて欲しいと願います。

最後になりますが、多くの業績を残された、前会長 剣持 浩先生のように到底出来ませんが、副会長や事務局を始め、会員の皆さまのご協力を頂きながら、「常に安全で、より質の高い保育の提供」を念頭に置きながら、会の運営に携わつていきたいと思っています。

与えられた任期は一生懸命務めさせていただきますので、どうぞご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが就任のあいさつとさせていただきます。

(2019年7月19日現在)

新顧問挨拶

わらしべ保育園

剣持 浩

平成21年に会長になり、令和元年の5月総会でその役を降りることが出来ました。その間、平成25年から28年まで埼玉県保育協議会会長も兼務し、大変忙しい毎日を送つてきたと同時に、皆さまのご協力によつてつがなく終えることが出来たことに心から感謝申し上げます。

会長として大事にしてきたことは、一つ目は認可園における子どもの生活を保障し保護者支援のために保育の質をどうつくつていくのか、二つ目に児童福祉法に基づく認可園の立場(施設環境、職員の処遇、基準の遵守など)を崩されることが無いようにすることの2つの柱でした。この視点で当協会の理事会役員会、行政との協議を進めてきました。県保育協議会及び当協会は若い人材に恵まれ、若い方々にバトンタッチできたことは大変嬉しいことです。

さて、子ども・子育て支援法施行5年目を迎え、新たな5年をどう進めるか見直しの時期に入ります。これに伴い、いわゆる公定価格の見直しの動きも出てきました。私達は、子どもを真ん中に据えて、子どもの豊かな発達と成長を保障することが大事な課題です。日本の保育所における最低基準(環境、人的配置、職員処遇など)は諸外国に比べて劣悪な環境にあり、ことある毎に私は「保育園の貧困問題」として取り上げてきました。国の施策はここに重点を置かないと少子化問題も解決できないばかりか、日本は諸外国に遅れをとることになるでしょう。今後も皆さまと共に顧問として共に歩んでまいりたいと思います。

新監事挨拶

松木保育園

伊藤 安博

この度監事に就任しました、なかよし愛育会の理事長松木保育園園長の伊藤安博です。遠藤監事に誘われ、久しぶりに協会の役員を引き受けることに致しました。以前とは違い会員数も多くなつており、それだけ多様な考え方を持つ方々の集まりだと思います。色々な見方をしながら会長さん・副会長さん・部長さんなどが会員の皆様の期待を実現する方向に努力していらつしやる事を確認していきたいと思っています。



新副会長挨拶

えがお保育園 島村 和宏

今年度から副会長に就任しました、えがお保育園の島村です。

昨年度までは事務局として協会の運営に関わらせていただき、在任中は剣持前会長はじめ、役員の皆さんが、自園の運営のかたわら、問題に一つずつ丁寧に向き合う姿や、子ども達の未来の為に議論を重ねる姿を一番近くで見させていただきました。

役員の皆さんから園長として、保育者として大切なことをたくさん学ばせていただきました。教えていただいたこと、学ばせていただいたことを少しでも返せるように、微力ではありますが頑張りたいと思います。

危機管理と制度の担当となりましたので、子どもたちの安全が守られ、働く先生方が安心して働けるように、安全面・危機管理に関する最新の情報等を随時お知らせしたいと思っています。また、県内の保育団体である埼玉県私立保育園連盟でもさいたま市担当の副会長を仰せつかることとなりましたので、保育団体からの最新の情報等も定例会を通じて皆さんにお知らせできればと考えています。さいたま市で働く保育士の更なる処遇改善を目指し、皆さんのご指導をいただきながら頑張りたいと思います。よろしく願います。

新副会長挨拶

ふらっとセントラル保育園 木村 和孝

この度副会長の任を仰せつかることになりました、ふらっとセントラル保育園の木村です。予算対策部長も兼任させていただきながらという事で、不安なことも多くありますが、皆様に教えていただきながらできる事を精一杯努めさせていただきます。

昨今の保育制度の変革は目まぐるしく、情報もたくさんあり、自分自身も必死に勉強させて頂いているところです。どのように制度が変わろうとも一番大切なことは、子ども達の毎日であり、そして子ども達に懸命に関わる保育園職員一人一人だと思います。できる限りみなさんにわかりやすく情報提供すること、そして現場の課題に沿った要望と一緒に、叶えていく事を通じて、子ども達・保育園職員のみなさんに貢献できるよう努めます。安全・安心保育、保育職員処遇、事務制度等、色々と考えていくべき課題はたくさんありますが、一つ一つをできる限り丁寧に紡ぎながら、皆様の教えのもと、活動の一端を担わせて頂きたいと思っています。

重ね重ねになりますが、まだまだ未熟者ではございますが、ご指導・鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

新会計挨拶

いちご桜保育園 大塚 弘美

この度、会計に就任しました、いちご桜保育園の大塚です。

昨年度までは食育部に所属しており、保育園の給食について離乳食や食物アレルギーの対応など、さいたま市保育課の協力を得ながら幅広く学ばせていただきました。

今年度からは会計担当として皆様方のお役に立てるよう、微力ながら精一杯努めて参ります。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新会計挨拶

わらしべ第二保育園 船崎 澄子

この度、会計に就任致しました、わらしべ第二保育園の船崎です。

剣持前会長の下で、副園長として協会の仕事を聞き取りしておりました。市を始め、県や国へも私立保育園として時には要望を、時には新たな施策や対応にいち早く情報を入手し、会員に知らせて下さる等重要な役割を担っていることを改めて実感致しました。

まだまだ、学ぶことが多く、微力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯努めさせていただきます。

至らない点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

新事務局次長挨拶

きらり遊愛保育園 笠原 栄希

きらり遊愛保育園の園長をしております、笠原と申します。前島村事務局長の後を引き継がせていただくこととなりました。

理事会、定例会の次第作成や行政・各団体との調整を主に行っております。

事務局は縁の下の方力持ちであり、パイプ役であります。田仲次長と共に、役員と会員の皆さん、行政の方々と繋ぎ、風通しが良い組織を目指してまいります。

会員の皆さんと、日々の保育の中での課題、目標などを情報交換しながら、互いにより良い保育を語り合う関係性ができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

新事務局次長挨拶

桜花保育園 田仲 雄貴

事務局次長を務めさせていただきます桜花保育園園長の田仲と申します。

私は協会を通して沢山の先生と出会うことで、それまで不安で悩んでいたことも相談できる仲間ができました。研修や行政説明などでは沢山の知識を得ることができました。

今後加盟園数も増えていく中で、お互いの絆を深め保育の質を高めていけるような協会となるよう皆様と協力していきたいと考えております。

これからも協会と共に成長できるよう、事務局の一員として務めて参ります。宜しく願います。



第11回定時総会

令和元年5月16日(木)



さいたま市子ども家庭総合センターあいばれつとにおいて、さいたま市私立保育園協会の第11回定時総会が開催されました。来賓13名をお迎えし95園が出席しました。

ご来賓のさいたま市副市長の高橋篤氏や各保育園団体の会長様よりご挨拶を頂きました。その後平成30年度事業報告、収支決算報告及び監査報告、2019年度事業計画及び収支予算について、1号議案から4号議案が可決され、第11回定時総会は無事に閉会しました。

役員一覧

理事・会長	大野 智子 (あおぞらウインクルム保育園)
理事・副会長	三須 亜由美 (いちご南保育園)
理事・副会長	丸山 和彦 (浦和ひなどり保育園)
理事・副会長	和田 明子 (エンゼル保育園)
理事・副会長	島村 和宏 (えがお保育園)
理事・副会長	木村 和孝 (ふらっとセントラル保育園)
監事	遠藤 昭一 (ふたば保育園)
監事	伊藤 安博 (松木保育園)
監事	吉野 康幸 (吉野康幸税理士事務所)
顧問	丸山 郁代 (ひまわり乳児保育園)
顧問	剣持 浩 (わらしべ保育園)

役員改選

剣持先生、永年会長として、ご尽力をいただきましてありがとうございます。今後は顧問として協会を支えていただけたらと思います。宜しくお願いいたします。



飯野先生、長きにわたり会計担当お疲れ様でした！



新会員紹介

さいたま市私立保育園152園中
会員園121園となりました

社会福祉法人みんなぎ ふらっとセントラル保育園
園長…木村 和孝
所在地…〒330-0063 浦和高砂3-8-15高砂SSビル1、2階

社会福祉法人美桜里会 桜花第二保育園
園長…本田 幸子
所在地…〒330-0854 大宮区桜木町4-570-1

株式会社ハッピーストーリー 大宮西口ひなた保育園
園長…川上 佳奈
所在地…〒330-0854 大宮区桜木町4-928-1

社会福祉法人一樹福祉会 浦和みその保育園
園長…伊藤 みささ
所在地…〒336-0967 緑区美園4-16-1

社会福祉法人創人会 きらりつばさ保育園
園長…島田 由美
所在地…〒336-0967 緑区美園3-29-6

社会福祉法人彩光会 くまの子倶楽部三室保育園本館
園長…大熊 孝治
所在地…〒336-0911 緑区大字三室字中原496-1

社会福祉法人遍照会 遍照浦和美園保育園
園長…中野 幸子
所在地…〒336-0967 緑区美園3-10-16

雇用対策部

Come on! 保育フェスを開催いたしました



6月2日(日)に第1回保育フェスを行いました。就職説明会とは異なり気軽に参加して頂ける様、エプロンシアターや手作り玩具のブース等、就職後の実践に繋がる材料を用意し各園にご協力頂きました。当日はたくさんの学生さんが来場して下さい、私立保育園協会の事を知って頂くとともに今後の就職説明会の参加に繋がるイベントになりました。



2019年度 就職説明会日程

●8月31日(土)13:00～ ●9月14日(土)13:00～

2019年度 第1回就職説明会 —— 7月13日(土) ——



今後も就職希望者に向け様々な形で発信をしていきたいと思っています。

研修部

今年度の研修日程

今年度の研修日程(予定)です。近くなりましたらそれぞれご案内を送ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

研修名	回数	日程	研修の目的と概要
保健衛生情報交流会 (あいぱれっと)	2回	①6/6(木) 言語について ②11/22(金)	・保育園の保健指導についての勉強会 ・園長・保育士・看護師等の意見交換
保育士のための 自然体験講座 (北本自然学習センター)	3回	①7/24(水) ②11/15(金) ③2/13(木) 13:30～16:30	保育者が自然の中で日々の喧騒から離れて公園内での遊びや座学の中から明日の保育に繋がるアイデアを学びます。 ・座学・自然体験
主任研修	3回 (予定)	① ② ③	園長の補佐又、現場の保育士のリーダーとして保育園を担っていく立場でのメンタルな研修
保育園見学会	1回 (予定)		・他園の保育の姿を見て自園の参考に・・・ ・子どもたちとの向き合い方や環境設定等
さいたま市 保育士等研修会	2回	①7/3(水) ②2/15(土)	さいたま市委託の私立保育園協会受託の研修事業です。 ①プール活動における事故防止について 坂本 昌彦 氏 ②井桁 容子 氏
さいたま市 保育研究大会	1回	5園のうち 1園本大会	さいたま市 グループ実践発表 ※下記5園のうち、本大会を除く4園のグループ発表は10月後半～12月初旬に予定 桜 区:いちご桜保育園 浦和区:浦和たいよう保育園 南 区:向こころ保育園 岩槻区:きらり保育園 北 区:ハーモニー保育園

予算対策部

今年度の要望

今年度の予算対策部の計画は以下の通りです。

- 1) 令和2年度予算要望
- 2) 市単独補助金増額の要望
- 3) 全国政令指定都市の認可私立保育園団体との連携を強化し、保育界の動向を見据えた予算対策
- 4) 議会・行政との関係を強化し、認可保育園への理解と今後の運営の向上に努める。
- 5) 協会理事を交えての勉強会

特に今年度は子ども子育て支援新制度施行から5年目を迎え、変革期を迎えます。幼児教育の無償化とも重なり重要な節目の年でもあるととらえ、制度動向について、注視しながら皆様に情報をお伝えできるように致します。

予算要望については、今年度より保育体制強化事業が導入され、保育体制の整備に大きな一歩を踏み出すことができました。令和2年度の予算要望についても、引き続きご意見をいただきながら、要望を束ね、さいたま市への働きかけを進めて行きたいと考えています。

そして、勉強会についてはまだまだ発展途上でございます。制度はもちろんのこと、日々の保育事務・入所事務などの繁雑さ、疑問点などをまとめて勉強会を開催したりするなどの、直接的に毎日につながるような取り組みを深めていきたいと思います。

予算対策活動は皆様の声がすべてです。ぜひ、困っていることやもっとこうしたい！など色々な意見を予算対策部までお寄せ下さい。少しずつではございますが、皆様の声を形にできるよう努めて参ります。

調査研究部

今年度の予定

調査研究部では、保育士たちの日々の保育での悩み、園長先生方の悩み、疑問や、行政への要望などを皆さんにお聞きしまとめていく活動をしています。

今までにも『子どもの声に関する苦情』や、実態調査から始まり医療的ケア児に対する園での受け入れ方や看護師や加配の配置などをとりあげてきました。

このような皆様のご意見をまとめさせていただき、医療的ケア児ワーキングチームにより要望書を提出していただきました。

要望書の内容

- ①さいたま市保育課にて、医療的ケア児についての制度を策定してください。
- ②看護師配置1対1での対応を必要に応じて認めてください。
- ③医療的ケア児事業を保育園で行っている場合には、国においての補助金制度の利用を認めてください。
- ④看護師採用に向けて、保育士同様処遇改善をお願いします。
- ⑤看護師の研修の充実を図ってください(基本的な知識の研修・痰吸引などケアの研修など)。

以上の要望をし、すべての子どもたちに安心できる保育を行っていけるようサポートしていきたいと思っています。

今後も皆様のご意見、ご協力をいただきたいと思います。

食育部

昨年度の活動報告と今年度の予定

食べる事は生涯にわたって続く基本的な営みです。

乳幼児期は、食べる意欲の基礎を作るとも大切な時期です。「食育」を通して子ども達ひとり一人が心身ともに健やかに成長し、「食べる力」が身についていくことを目標に活動をしていきます。

今年度も保育園で働く、栄養士、調理師、調理員の方々の交流や知識の向上につながるために、研修会、調理講習会を開催致します。今年度も、宜しくお願い致します。

今年度のスケジュール

- 7月17日(水)・・・「離乳食について」研修会(さいたま市共催)
- 9月5日(木)・・・「食物アレルギーについて」研修会(さいたま市共催)
- 9月18日(水)・・・「保育園の離乳食について」調理講習会
- 1月29日(水)・・・「卵の調理の特性を知る」調理講習会
- 食物経口負荷試験&スキンケア指導の見学

参加予定

さいたま市食育推進協議会への出席(部長)

活動報告

平成30年度は、「埼玉県産物の魅力再発見食育推進事業補助金」を申請し、調理実習を行いました。埼玉県の地場産物を使用したメニューを、保育園の献立にも活用できるようにと、講師の先生方が考案して下さい、大変美味しい、調理実習になることが出来ました。どちらの研修にも(有)若谷農園さんに、美味しい小松菜を提供して頂き、貴重なお話も聞かせて頂きました。

地場産物を使った 和食給食の献立

平成30年9月19日

講師

おおぞらウィンクルム保育園園長
大野 智子氏

メニュー

- ・萩ご飯・白身魚の幽庵焼き
- ・豆腐入り白玉鶏団子の葛あんかけ
- ・五色野菜のごま酢和え
- ・おからのふんわりきな粉もち



地場産物を使った鉄分と カルシウムが豊富な 和食給食の献立

平成31年1月25日

講師

さいたま市保育課主幹
福島 雅子氏

メニュー

- ・小松菜入りじゃこごはん
- ・ひじき入り鶏ひき肉焼き
- ・野菜とひじきの磯香和え
- ・紅赤のジンジャー味噌ポタージュ
- ・くわいの素揚げ



保育園での安全管理、危機管理について

副会長 島村和宏

平成 27 年から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、保育園は「特定教育・保育施設」となりました。「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の 32 条 1 項では下記の通り「特定教育・保育施設」の「事故」について記載されています。

(今回は 32 条 1 項のみ取り上げますが、32 条の 2 項、3 項、4 項についても事故について記載がありますので必ず確認してください。)

第三十二条 特定教育・保育施設は、事故の発生又はその再発を防止するため、次の各号に定める措置を講じなければならない。

- 一 事故が発生した場合の対応、次号に規定する報告の方法等が記載された事故発生の防止のための指針を整備すること。
- 二 事故が発生した場合又はそれに至る危険性がある事態が生じた場合に、当該事実が報告され、その分析を通じた改善策を従業者に周知徹底する体制を整備すること。
- 三 事故発生の防止のための委員会及び従業者に対する研修を定期的に行うこと。

32 条の 1 項をまとめると

- ①事故発生時の対応マニュアルの整備をしなければならない
- ②事故防止の為に取組みマニュアルの整備をしなければならない
- ③事故発生防止委員会の設置をしなければならない
- ④定期的な職員研修の実施をしなければならない

ということになります。①～④の整備等については

「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」

を参考にさせていただくことをおすすめします。

マニュアル整備や委員会の運営等は、大変な作業ではありますが、万が一、事故が発生した際に園の先生方を守る盾になりますので必ず行ってください。

また、マニュアル等は整備をしておしまいではなく、現場の先生方が使いこなせるものとなるように実態に合わせて見直し、改訂をしてください。

①～④については、さいたま市の自主点検項目にもありますので必ず整備等をお願いします。

マニュアルの様式や事故発生防止委員会について、職員研修について等ご不明な点は遠慮なく事務局もしくは副会長 島村までお問い合わせください。

わくわくが いっぱい!

上木崎保育所

たなばた



たなばたの飾りつけをしました! 願い事、かなうといいなあ・・・

いちご桜保育園

穏やかな春の日差しの中で



春の穏やかな日差しの中で滑り台。桜も綺麗でとても気持ちのいいお散歩になりました。

たじま絆保育園

絆祭り手作り神輿をわっしょい!



「わっしょい!! ピピ!! わっしょい!! ピピ!!」元気一杯お神輿を担ぎます。

南浦和たいよう保育園

いろんな虫をみつけたよ!



田んぼの中で泥だらけになりながら夢中で沢山の生き物を捕まえて観察を楽しみました!

大宮西口ひなた保育園

プカプカ浮くのは、なんで?



なかなかお天気に恵まれないけれど、ベビープールに水を張って水遊び。おもしろいね!

未来ほしの子保育園

みんなでシャボン玉



園庭でのんびりとシャボン玉...みんな上手になりました。暖かい日だったので、裸足の子もいますね。

編集後記

この時期、子どもたちが一番楽しみにしているプールあそび。記録的な冷夏と猛暑により「今日は寒いから入れないね」「まだ今度は「暑すぎるからだめだね」とがっかりする子どもたち。

ある危機管理の研修で「なんで危険なプールをするのか」という講師のご指摘がありました。でもプールの中で楽しんでいる「あの笑顔」を見ると、また頑張ろうと思ってしまう。

「真つ黒ですね。ゴルフ焼け?」と知人に聞かれて言い返します。「監視焼け」。

来年も真つ黒になつてみせます。子どもたちの「あの笑顔」をまた見たいですから。

広報部 青山 豊

保・育・園・紹・介



ういず日進駅前保育園 園長 増田 雅子

さいたま市埼京線日進駅北口よりわずか1分のういず日進駅前保育園は働く保護者の方にとって、とても便利な立地です。お車通勤の方も駐車場があるため、そのまま出勤できると喜んでいただいています。

園庭には砂場と鉄棒…そして頂上からは電車がみえる滑り台もあり、子どもたちにとって人気の遊びのひとつとなっています。又、うねうね公園、松原公園、番場公園等、たくさんの公園に恵まれているため、春は芝生の上を走って鬼ごっこをしたり、秋は落ち葉拾いをしたりと楽しみ方も様々です。そして、1歳児から5歳児まで、週1回外国の先生の指導のもと英語遊びを行っています。

4、5歳児は外部講師によるダンスレッスンの時間もあります。夏は水遊び、プール遊びを園庭やテラスで行っています。

夏祭り、運動会、発表会等保護者の方に日頃の活動を披露する日もあり、特に年度末の発表会ダンスでは、たくさんの拍手をもらい子どもたちは満足そうな笑顔を見せてくれます。

年長児になると、サッカーやワークブック、書き方練習、道徳の時間等を設け、小学校に通う前の準備をしています。たくさんの活動の中から子どもたちの『得意』『大好き』を見つけてもらい、自主性と意欲を伸ばしていきたいと思っています。そして混合保育も取り入れ、豊かでやさしい心を育むことを念頭におき保育活動を行っています。見学も随時お待ちしております。



桜花保育園



園長 田仲 雄貴

桜花保育園は平成25年4月に開園しました。

「よく食べ、よく遊び、よく眠る」を基本に、「明るく楽しく元気な子、思いやりのある優しい子、感謝の心を持つ子、目標に向かって頑張る子」に成長することを願い保育に努めています。子どもたちに肯定的に関わることで主体性を育み、集団生活の中で輝く個性を大切にしています。

子どもたち一人ひとりが自信を持って取り組む姿や、友だちと協力して頑張っている姿にはいつも感動します。例えば運動会での年長児によるダンスでは練習を重ね、心をつなぐに行きます。運動会直前になると、子どもたち同士で教え合うようになり、一つの目標に向かって頑張る姿、一生懸命頑張る姿に私も沢山の元気をもらっています。

子どもはみな平等であり、健やかに成長することを願っています。これからも子どもたちが笑顔で楽しく自信を持って過ごせる、保護者に信頼される、地域の皆様に愛される保育園を目指していきたいと考えております。



らそ保育園 園長 伊藤 美幸

らそ保育園は平成25年に開園した80名定員の保育園です。

園名のLAZO(らそ)は、スペイン語で絆です。その名の示す通り、親と子・職員と子・園と地域を含めた子育て世代の皆さん等、随所の絆を深め社会が連携し豊かな人間性を育むようにと願い込められています。また、未来を担う子ども達が、心身ともに健やかに育つこと、現在が将来へ繋がっていくことを意識した実践的な学びの場になることを理念とし、子ども達には育む力(絆育力)、生きる力(活生力)が身に付くよう日々保育を展開しています。

大宮区にある当園には遊具のある園庭の他に、運動場が2カ所、広大な遊び場を保有しています。そこで運動会はもちろん、マラソン大会等体を動かす活動や季節に合わせた野菜の栽培・収穫等、食育活動を活発に行うことが出来ます。身近に安心、安全な環境が整っていることにより、子どもも安心して安定した園生活を過ごすことができると考えます。

幼児クラスになると文字・生活・体育を内部講師による活動を行います。文字への興味関心、基本的生活習慣の習得、運動機能・体力向上等を目標に取り組んでおります。様々な活動を十分に楽しみ沢山の経験を積むことで伸び伸びと行動する力を育んでいく保育を目指しております。

最後に、園に関わる職員一人ひとりが幸福感和充実感を持つことで良い保育が展開していくと考えます。これからも働きやすい環境の中で健全なるワークライフバランスを保ちたいと思います。



あおぞらウinklム保育園 園長 大野 智子

本園は、さいたま市の公募を受けて、2013年4月大宮駅西口より徒歩3分、のびのびプラザ大宮の2階にある施設で、90名定員で開園致しました。

施設の中は、明るく開放感に溢れ、『子どもたちが愛されていることを実感できる』

そんな主体性が育つ保育を実践しています。

幼児クラスでは、週に一度専門講師に依頼し、体操指導や英会話を実施しています。

子どもたちの成長に合わせた丁寧な保育を行い、子どもたちの体の中から健康で元気な成長を願い実践しています。また、食は生きる上でとても大切で「誰と何をどんな環境で食べるのか」という事が重要です。毎日の給食を通して、子どもたちの健全な心と身体を培い、生きる力を身に付けて行くための食育にも力を注いでいます。

本園の命名理由

欧米における言語の原点であるラテン語で「絆(きずな)」の事を「ウinklム」と言います。これからの日本の発展を担う子どもたちが、家族、保育園、地域の人々と強い絆で結ばれていく、そんな願いを込めて命名致しました。清水市長の新たなビジョンである「子どもが輝く絆で結ばれたまち」をイメージして命名致しました。